

令和元年度第1回補助金等審議会記録			記録者	財政課	場 所	本庁舎 第一委員会室
実施日	令和元年7月30日（火）		時間	午後1時15分から午後4時40分		
概 要 質 疑 等						
課等名						
事 業 名	質疑番号	内 容			回 答 また は 措 置	
市民協働課 13:45～14:14						
地区集会所火災保険料助成金	1	地区集会所を2棟持っている行政区がありますが、その理由を教えてください。			例えば横瀬地区など、地区内の面積が広いと、離れた2つの集会所が必要な地区があるためです。それぞれの棟について上限1万円で火災保険料等の補助を行っているため、横瀬地区は1地区2件の実績となっています。	
	2	地区によって保険料に差があるので、上限1万円ではなく、保険料に応じた補助率を設定して補助金交付をすれば、さらなる効果が期待できるのではないのでしょうか。			保険の種類によって保険料が変わりますので、市では純粋な火災保険料及び風水害などの自然災害にかかる分に限って補助金を交付していますが、補助率による交付についても検討させていただきます。	
	3	地区の運営費に対しても補助を行っているのですから、火災保険料を運営費補助には含められないのでしょうか。			貴重なご意見として、行政区の運営費に対する地区行政経費交付金と合わせた補助金の交付や補助率による見直し等について、検討していきたいと考えています。	
農林課 14:15～14:37						
神栖市地区生産組合経費交付金	1	農家1件ごとに対する補助ではなく、生産組合に対する補助金ですか。			生産組合に対する補助です。	
	2	郵送による営農計画書の配布を行っておりますが、どこから発送していますか。			旧波崎地域は生産組合がないため、農林課から営農計画書を郵送し、市役所へ届けていただいています。旧神栖地域でも生産組合がない行政区もありますので、そちらについても当課から郵送配布をしております。	
	3	補助金交付対象者である生産組合の配布した営農計画書の回収率は85.0%とありますが、郵送での回収率は12.5%ですので、今後、生産組合がなく、市から郵送している方への回収率を上げていけるよう対策を講じたほうが今後の農業の進展には良いと考えます。				

農林課 14:38～14:56

施設園芸生産安定対策費補助金	1	(独)農畜産業振興機構へ国60%, 県20%, 生産者20%の負担割合で積立を行っており, 生産者の積立金が15%を上回らないよう, 市が生産者に対し補助しているという理解でよろしいですか。	生産者負担が15%程度になるように市で補助しています。
	2	燃油や資材単価の高騰などによる農家負担に対しての施策はありますか？	茨城県で燃油価格の高騰に対する支援を行っています。
	3	どういった基準で補助金額が決まるのでしょうか。	当該年度の平均販売価格が一定の基準を下回った場合に生産者積立金の一部を市が補助しています。

教育指導課 15:10～15:35

研究・研修補助金	1	学校じまん支援事業とはどういった事業なのでしょうか。	平成25年度から制度開始された事業で, 特色ある学校活動・地域の伝統や特性を活かした学校づくりを推進する事業です。例えば, 軽野小学校では, 「軽野フェスティバル」という地域の伝統文化を取り入れたプロジェクトを行っています。
	2	学校じまん支援事業は神栖市が独自に考え出した事業なのですか。	市独自の事業です。
	3	神栖市としての子ども像というものを作するためのプロセスのひとつなのでしょうか, 補助金としてではなく, 学校の運営経費に組み込むべきではないでしょうか。	各学校の独自性を尊重するため, 補助金として交付しておりますが, 学校の運営経費予算として組み入れることも視野に入れ検討してまいります。

企業港湾商工課 15:35～16:04

特産品開発事業補助金	1	補助金を活用して開発された特産品のPRはどのように行っていますか。	市のホームページや広報紙のほか、神栖市観光物産PR協議会という組織を観光協会で立ち上げています。特産品認定を受けた方には、本協議会への入会をお願いしており、イベントでの出展や市外でのPR活動をしていただいています。
	2	補助を受けた方は商品開発の際に事前マーケティングをしていますか。	事前マーケティングに要する費用については、補助対象経費となっておりませんが、過去の実績ですと、お菓子業者や農家の方が特産品の開発事業費に本補助金を活用しており、自分の作った製品や野菜などをもっと食べてもらいたいという思いで開発をされています。
	3	特産品開発には審査があるようですが、計画書の提出期限や応募方法について制度の概要を市民にどのように公表していますか。	広報紙やホームページで公表しています。
	4	特産品のプロモーション活動として、高速バスを利用される方にパンフレットを配布してみてもいいでしょうか。	セントラルホテルの高速バス乗り場などは企業の出張で来られた方などが多くいらっしゃいますので、PR方法については検討させていただきます。
	5	神栖市のPRとして、特産品開発に繋がる良いアイデアをお持ちの市民の方もいらっしゃると思いますので、そういう方と製造者の方をマッチングさせてあげる機会があればもっと有効に利用されるかと思っています。	

企業港湾商工課 16:05～16:25

中小企業事業資金利子補給費補助金	1	今後は元の20%の補助率に戻す時期を検討されているとのことですが、例えば40%、30%と段階的な見直しを検討してはいかがでしょうか。	今後は消費税率の引き上げなども控えているため、経済情勢等を注視しながら、補助率等の見直しを検討してまいります。
	2	交付要項には、平成21年1月1日から平成31年12月31日までの間に融資を受けたものに係る利子補給率を20%から50%とするよう明記されています。補助金の終期が5年間にも関わらず、10年間50%を担保するような表現は矛盾していませんか。	交付要項の「平成31年12月31日まで」という箇所は、補助制度の状況を検証した結果、毎年度、継続することとしたためですので、当初から10年の期間を明記していたわけではありません。
	3	この補助金の利子補給の件数は増加傾向ですか。	横ばいの状況です。